

氏名	鈴木 康美	部署	看護学科 基礎看護学	職名	教授
研究分野	看護管理学、継続教育、成人学習、リフレクション、協同学習				
学位	修士(看護学)				
学歴	2006年千葉大学大学院看護学研究科修士課程修了				
経歴	1995～2014年東邦大学医療センター佐倉病院、2010～2013年東邦大学看護キャリア支援センター副センター長、2014年 日本健医療大学 保健医療学部 准教授 2016年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 教授				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本看護管理学会、日本看護研究学会、日本看護教育学学会、日本協同教育学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1					
2					
3					
(2) 論文					
1	「A県内の中規模病院の教育責任者からみた院内教育の現状と困難」	単著	保健医療福祉科学 2018:8:17-23,	○鈴木康美	2019. 3.
2					
(3) 学会発表					
1	「中規模病院の教育責任者の現状と課題」	共著	第22回日本看護管理学会学術集会、神戸、P307	○鈴木康美、早坂玉緒、太田雄馬、岸野あやか	2018, 8
2	「A県内における中・大規模病院のPNS導入の実態調査」	共著	第22回日本看護管理学会学術集会、神戸、P325	○鈴木舞、鈴木康美、	2018, 8
(4) その他					
1	第15回日本協同教育学会実行委員		大阪		2018. 11.
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	看護教員の教育力量形成に関する研究(研究分担者)			2018, 4、～19. 3.
2	奨励研究C	EPA等の人材育成の課題に直面する中規模病院の組織分析による最適な教育プラン(研究代表者)			2018, 4、～19. 2.
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	看護方法Ⅱ	2018. 4～6	科目担当者として、2年生を対象に、日常生活援助、清潔ケアを、安全に、安楽に、患者の状況に応じて考えられるよう指導した。		
2	看護管理	2018. 4～5	看護管理の概念、マネジメントプロセスに関する理論、看護職に関連する法令、キャリア開発等の講義、協同学習の演習方法を活用したグループ学習で理解を深めた。		
3	看護管理学システム論	2018. 4～7	大学院生を対象に、看護管理全般の講義・討論のサポートをした。		
4	看護教育学	2018. 4～7	科目担当者として、大学院生を対象に、院内継続教育、キャリア開発に関する講義、討論。		
5	看護管理学	2018. 11～12	日本保健医療大学における講義、		
(2) 演習					
1	看護方法Ⅰ	2018. 11～18. 2.	1年生を対象に、環境整備、バイタルサイン測定、感染予防の基礎看護技術を、原則に沿って学習を支援した。		

2	看護方法Ⅱ	2018. 4～6	2年生を対象に、日常生活援助、清潔ケアを、安全に、安楽に、患者の状況に応じて実施できるよう指導した。	
3	看護方法Ⅲ	2018. 4～6	2年生を対象に、診療の補助の技術、(採血、与薬等)を、基本原則に沿って、安全に、安楽に、実施できるよう指導した。	
4	看護方法Ⅳ	2018. 6～8	2年生を対象に、ヘルスケアアセスメント、日常生活援助を、安全に、安楽に、患者の状況に応じて考えられるよう指導した。	
5	卒業研究	2018. 4. ～12	4年生、5名を対象に、それぞれの研究目的に合わせて、文献研究、現状調査、インタビュー調査を行い、論文としてまとめた。	
6	看護学特別研究	2018. 4. ～2019. 3	大学院生3名の指導補助として、研究指導をゼミで実施した。	
(3)実習				
1	ヒューマンケア体験実習	2018.9	実習指導者として、1年生を対象に2施設の学生10名が、円滑に実習できるよう、実習調整、オリエンテーション、カンファレンスの支援を行った。	
2	基礎看護学実習Ⅰ	2019.1～2	実習指導者として、草加市立病院で、1年生を対象に、シャドーイング実習、カンファレンス等を支援した。	
3	基礎看護学実習Ⅱ	2018. 8～10	科目責任者として、2年生を対象に看護過程の展開を目的に、実習調整、オリエンテーション、非常勤実習指導者のフォロー、困難な学生の対応等を行ない、基礎実習が円滑に運営されるように支援した。	
4	総合実習	2018.7	実習指導者として、春日部市立医療センターで、4年生に、今年度初めて、学生によるチームナーシングの実習を企画し、実施した。チームリーダー、メンバーの役割について支援した。	
(4)論文指導				
1	修士課程	2018.4～2019.3	副指導:3名、うち2名課程を修了卒業	
2				
3				
(5)その他				
1	質的研究会	2018.4～2019.3	質的研究に取り組み大学院生の勉強会のサポートをした。	
2				
3				
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	看護実践のリフレクション	千葉県看護協会	看護実践のリフレクションについて、理論と実際	2018.11
2	新人看護職員研修責任者研修会	千葉県看護協会	新人看護職員研修計画の立案について	2018.8～9
3	看護学教育指導者研修一ベーシックコース	千葉大学大学院看護実践研究指導センター	看護における成人学習のあり方	2018.8
4	認定看護師緩和ケア	埼玉県立大学認定看護師教育課程	医療安全、看護管理	2018.9
5	認定看護管理者研修セカンドレベル	新潟県看護協会	組織論	2018.6
6	rr	専門職公開講座	自施設の組織分析に基づいた教育計画の立案、実施	2018.6～9
(2)国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	該当なし			
2				
3				
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営(委員会委員)				
1	入試委員会 委員			
2	保健委員会 委員			
3	入試部会委員長			
3	名誉教授選考員			

6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		